

English follows Japanese

私たちの信じていること: 神の契約

数週間前にジャン・カルバンと彼の著書キリスト教綱要のキリスト教宗教改革から出た神学を定義すること関連して話し始めました。彼は初期の主要な神学者の一人で聖書の契約の思想について広範囲に執筆しました。カルバンより前に誰も聖書の契約の重要性に気づいていなかったわけではありませんが、その時までの教会の歴史で、彼のように神の契約を見つめた人はいなかったのです。カルバンは神の契約がどのように聖書、教会、クリスチャン生活のすべての領域に当てはまるかを示しました。彼は聖書で必ずしも契約が当てはまるも限らない箇所でも当てはめ、私が思うに、彼に従う者たちはそれらの教えを聖書で必ずしもはっきり示されていないやり方でさらに強引に広めました。しかし、聖書の最重要な焦点は神による人と創造物を契約を通しての対処のなされ方です。聖書の契約の数については意見が分かれますが、明らかなのは最低5つの明確な契約と他に可能性として2つか3つあります。それら5つの明記されている契約は創世記で見たノア契約とアブラハム契約、そして、モーセ契約、ダビデ契約と新しい契約です。聖書は契約の物語です。そして、それぞれの契約はこの物語の重要な部分を形成しますが、聖書が語る徐々に明らかにされていく一つの包括的な契約があります。伝統的に新しい契約と呼ばれてきましたが、聖書全体を通して神の恵みの契約が中心です。そして、その他の契約はその究極の成就に導くための役割を果たしています。今日のメッセージの土台となる聖句はエレミヤ書 31章31-34節です。エレミヤ書 31章31~34節 31. 見よ、その時代が来る——主のことば——。そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、新しい契約を結ぶ。32. その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った——主のことば——。33. これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである——主のことば——。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。34. 彼らはもはや、それぞれ隣人に、あるいはそれぞれ兄弟に、『主を知れ』と言って教えることはない。彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るようになるからだ——主のことば——。わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないからだ。今日の聖句に取り組む前に、祈りましょう。

この句の学びを始める前に、まず、契約とは何かを理解する必要があります。契約の基本的定義は二つあるいはそれ以上の当事者や関係者の間の合意で一人、または、両者、あるいは複数人に義務を負わせることです。これまで見てきたように、アブラハムの例では神が契約を結ばれる時、人の取引とは違い、神はご自身で全ての契約事項を果たすことができます。神は契約を維持するために誰も必要とはされていません。そして、今日じっくり見ていく主要な契約もアブラハム契約同様完全に一方的です。創世記15章で、神がこの契約のすべてをされているのを見ます。神の約束である神がアブラハムを大いなる国民とし、全世界を彼を通して祝福するこの契約を正式に締結するようにアブラハムは切り裂いた動物を並べ置きました。しかし、12節で、契約を履行する正式な儀式が始まろうとするとき聖書はこう言っています。

創世記 15章12節 日が沈みかけたころ、深い眠りがアブラムを襲った。そして、見よ、大いなる暗闇の恐怖が彼を襲った。

それで、アブラハムは眠ってしまいます。私たちは神が御自身御一人で契約を正式なものにされるのを見ます。聖書は語ります。創世記 15章17~18節 17. 日が沈んで暗くなったとき、見よ、煙の立つかまと、燃えているたいまつが、切り裂かれた物の間を通り過ぎた。18. その日、主はアブラムと契約を結んで言われた。「あなたの子孫に、わたしはこの地を与える。エジプトの川から、あの大河ユーフラテス川まで。

さて、聖書での契約に関していえば、エレミヤ書のこの聖句がこれらの契約を理解する鍵となります。そしてこの聖句の鍵は救いのための神の約束です。34節はその核心をこう終わりながら私たちに示しています。

わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないからだ。これは先週、私たちが見た人類の問題、罪、からの救いです。その救いは新しい契約の宣言から始まります。1689年 ロンドン信仰告白はエレミヤが私たちの聖句のでそうしたように、神の契約について論じています。ロンドン告白の7章(17ページ)はこう言っています。

第二ロンドン信仰告白： 第七章 神の契約について

1. 神と被造物との間の隔たりは極めて大きいので、理性的被造物が、彼らの創造主としての神に服従する義務を負っているにもかかわらず、神が契約という方法で表わすことをよしとされた、神の側のある自発的謙遜によらない限り（ルカ 17:10; ヨブ 35:7, 8）、彼らは生命の報いを得ることはできなかつた。エレミヤ書のこの聖句は旧約聖書で明らかに見られた以前の契約と関連した新しい契約としてここに啓示されている神の包括的な契約を認めていることが独特です。32節は言います。その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った。これは私たちがモーセ契約と呼ぶものについて話しています。律法に基づいています。神はモーセに十戒と出エジプト記から申命記までに明確に述べられている数百の細則を与えました。神は言われました。私はこれらの律法を成就し、あなたを祝福する。あなたはあなたの祖先アブラハムに約束された土地のすべてを受け。さて、旧約聖書全体をその契約を通して見る人たちもいます。彼らは旧約聖書の古い契約によって民は律法を守る事によって救われることができると教えています。しかし、決してそれは律法の目的ではありませんでした。律法又はモーセ契約の目的は人の罪深さといつまでもその律法を遵守することが出来ない事を見せる事でした。パウロはローマ人への手紙7章全体を費やしてこれについて話し、ローマ人への手紙7章7~10節でこう言いました。それでは、どのように言うべきでしょうか。律法は罪なのでしょうか。決してそんなことはありません。むしろ、律法によらなければ、私は罪を知ることはなかつたでしょう。実際、律法が「隣人のものを欲してはならない」と言わなければ、私は欲望を知らなかつたでしょう。8. しかし、罪は戒めによって機会をとらえ、私のうちにあらゆる欲望を引き起こしました。律法がなければ、罪は死んだものです。9. 私はかつて律法なしに生きていましたが、戒めが来たとき、罪は生き、10. 私は死にました。それで、いのちに導くはずの戒めが、死に導くものであると分かりました。十戒と、まして聖書が示した全ての律法を守ることがイスラエルと私たちが出来なかつた事を私たちがこれから読むロンドン信仰告白の主張の正しさを証明しました。神と被造物との間の隔たりは極めて大きいので、理性的被造物が、彼らの創造主としての神に服従する義務を負っているにもかかわらず、神が契約という方法で表わすことをよしとされた、私たちには律法が守れません。私たちは神の戒めを破り神の律法を成就する能力に基づいた神との契約の私たちの側の責任を果たすことは決して出来ません。律法の代わりにエレミヤ書と新旧の契約と新約聖書、旧約聖書を通して聖書が示すのは違った種類の契約です。契約は恵みに基づいています。この契約は神の憐れみだけに依存しています。33-34.節を見てください。これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである——主のことば——。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

34. 彼らはもはや、それぞれ隣人に、あるいはそれぞれ兄弟に、『主を知れ』と言って教えることはない。彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るようになるからだ——主のことば——。わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないからだ。誰が全ての働きをしているか気づいてください。31と32節でもうすでに実際、誰もが神の律法に従うことが出来なかつたことは立証されています。私たちにはこれを行なうは不可能です。ですから、神が御自身の能力を律法を守るために注がれました。つまり、神の義、神の神聖さを注がれたのです。私たちが律法を守ることによって神に近づくことができないので、神は律法を私たちの心に刻み、御自身を現されました。これが恵みです。神が私たち自身ができないことをなさってください。新約聖書はこの恵みがイエス・キリストを通して啓示された事を示しています。イエス御自身が弟子たちと主の晩餐あるいは聖餐式を制定される時、彼の死が新しい契約の成就の約束であると明かされました。神は御子イエス・キリストの犠牲を通してその恵みを注ぎ出されました。ルカの福音書 22章20節 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あな

たがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。 イエス・キリストがその契約を彼の死と復活で契約を押印したように、実際は聖霊が神の律法を私たちの心に刻みイエスを信じることができる様にしてくれます。聖霊が私たちに罪深い躓きの心を取り除き神の驚くべき恵みによって律法を守れる様に変えるために新しい心の移植手術を行います。 **コリント人への手紙 第二 3章3節** あなたがたが、私たちの奉仕の結果としてのキリストの手紙であることは、明らかです。それは、墨によってではなく生ける神の御霊によって、石の板にではなく人の心の板に書き記されたものです。6節に進みます。6, 神は私たちに、新しい契約に仕える者となる資格を下さいました。文字に仕える者ではなく、御霊に仕える者となる資格です。文字は殺し、御霊は生かすからです。

この真理はロンドン信仰告白7章の第2声明文に詳しく説明されています。(page 16) 第二ロンドン信仰告白： 第七章 神の契約について

2. その上、人間はその墮落によって自らを律法の呪いのもとにおいてしまったので(創世記 2:17; ガラテヤ 3:10; ローマ 3:20-21)、主は恵みの契約を結ぶことをよしとされた。それによって、罪人に生命と救いをイエス・キリストによって価なしに提供し(ローマ 8:3; マルコ 16:15-16; ヨハネ 3:16)、彼らには救われるためにイエス・キリストへの信仰を要求し、そして永遠の生命に定められたすべての者が進んで信じ、また信じることができるために、聖霊を与える約束をされた(ローマ 5:12-19; 1コリント 15:21-22, 45, 49) 神がこの契約において全ての働きをなさっています。私たちは罪のうちに死んでおり神に繋がるためにも私たち自身を救うためにも何もできないのです。私たちを救うには聖霊の業が必要なのです。

ヨハネの福音書 6章44節 わたしを遣わされた父が引き寄せてくださらなければ、だれもわたしのもとに来ることはできません。わたしはその人を終わりの日によみがえらせます。聖書に明かされている神の恵みの契約のメッセージは誰もが受け取ることのできる最高の最も希望に溢れるメッセージです。私たち全員が働きの契約とも呼ばれている神の律法を破りました。そしてその契約の私たちの責任を果たせない人は神の恵みによって救われることができます。もし、あなたが自分は神に受け入れてもらえるほど善人であると考えているか、または、肉体的領域を超えた霊的な次元においてあなたは悟りを開いており、神に近づいていると考えている様であれば、あなたは罪の問題に対して盲になっています。私たちのうちの何も神御自身から離れては私たち罪人は私たちの創造主との関係を持つことはできません。ロンドン信仰告白は第7章をこのような響きで語っています。 第二ロンドン信仰告白： 第七章 神の契約について

この契約の恩恵によってのみ、墮落したアダムの子孫のうち、救われたすべての者が(ヘブル 11:6, 13; ローマ 4:1-2 以下; 使徒 4:12; ヨハネ 8:56)、生命と祝福ある不死とを受け。人間は今や、アダムが無罪の状態にいた時の条件では、神に受け入れられることは全くできない。創世記のアダムから黙示録のキリストの再臨の預言を通して、この恵みの契約の糸は旧約聖書を含める聖書全ページを貫流しています。旧約聖書では行いと律法を守ることによって救われる以外に他の道はなかったのです。 **ローマ人への手紙 3章20~21節** 20. なぜなら、人はだれも、律法を行うことによって神の前に義と認められないからです。律法を通して生じるのは罪の意識です。21. しかし今や、律法とは関わりなく、律法と預言者たちの書によって証しされて、神の義が示されました。 その神から来る義は常に私たちに対する不相応な好意を通して来ます。救いのための私たちの神の信仰に基づく神の恵みです。もちろん、旧約聖書では、彼らはイエス・キリストが世の罪を取り除く神の子羊であると啓示されるまでその救いの中心がわかりませんでした。しかし、私たちが再三アブラハムの生涯で指摘したように、神は彼の信仰に対して神御自身の義を彼のうちに転嫁すると言う報いをここエレミヤ書で読むように与えました。 **ローマ人への手紙 4章1~5節**

1. それでは、肉による私たちの父祖アブラハムは何を見出した、と言えるのでしょうか。2. もしアブラハムが行いによって義と認められたのであれば、彼は誇ることができます。しかし、神の御前ではそうではありません。3. 聖書は何と言っていますか。「アブラハムは神を信じた。それで、それが彼の義と認められた」とあります。アブラハムの神の律法に忠実な従順や彼の働きが彼を救ったものではありません。多くの場合で従順になることができなかつたこの人の上に溢れるほど注がれた神の恵みによって完全に与えられた彼の神の信仰によって義と認められたのです。

そして、ローマ人への手紙 4章5節はこう終わっています。4.働く者にとっては、報酬は恵みによるものではなく、当然支払われるべきものと見なされます。5.しかし、働きがない人であっても、不敬虔な者を義と認める方を信じる人には、その信仰が義と認められます。救いはわたしたちと共にある神の恵みの契約のおかげです。少し前のエレミヤ書で、私たちはイスラエルの民の心の描写を読みました。その描写は人である私たち全員の心の描写でもあります。

エレミヤ書 17章 1節 「ユダの罪は、鉄の筆と金剛石の先端で記され、彼らの心の板と彼らの祭壇の角に刻まれている。罪は彼らの心に刻まれていました。アダムのと、どの男性、女性、子供の心にも罪は刻まれているのです。しかし今エレミヤ書31章で見るのは神は彼らの心に新しい言葉、恵みを刻まれることです。神はあなたの心にその言葉を刻まれましたか。あなたは信仰によって応答し、イエス・キリストを信じてあなたの主として救い主として受け入れましたか。それともいまだに 良い行いを十分に蓄積して神がそれを悪い行いと秤にかけて最終的にはあなたを受け入れてくれるまで頑張りますか。残念ですが、天秤があなたの良い行いの方に傾くことは決してありません。神の恵みなくして、あなたの罪は決して赦されません。エペソ人への手紙 2章 8~9節

8.この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。 9.行いによるものではありません。だれも誇ることをないためです。神の無償の恵みをイエス・キリストの信仰を通して受け取ってください。神は信仰によって彼の元に来る者は恵みに与ると言う契約をあなたと交わしています。イエスは ヨハネの福音書 6章 37節 で言います。父がわたしに与えてくださる者はみな、わたしのもとに来ます。そして、わたしのもとに来る者を、わたしは決して外に追い出したりはしません。あなたがもし救いについて、神の恵みとイエス・キリストの信仰について、ご質問があれば、ぜひ、牧師である私、または私たちの執事、日曜学校の教師の一人とお話しさせてください。あるいはコミュニケーション・カードを記入していただければ、後日お話しする時間を設定しましょう。必要であれば通訳者も用意いたします。 私たちに驚くべき恵みを与えてくださる愛あふれる神をあなたに紹介するチャンスをぜひください。祈りましょう。

What We Believe: God's Covenant

A couple of weeks ago, I opened talking about John Calvin and his relationship to defining the theology that came out of the Reformation with his "Institutes of the Christian Religion". He was one of the primary theologians who wrote extensively about the idea of Covenant in the Bible. It wasn't that no one had seen the importance of Covenants in the Bible before him, but until that time in church history, no one had looked at them like he did. He showed how God's covenant applied to every area of Scripture, the church, and the Christian life. He saw covenants in the Bible where they were not necessarily at, and I believe his followers probably were too strong on expanding those teachings in ways that are not necessarily clear in Scripture. But a primary focus of the Bible is on the way that God deals with humans, his creation, through Covenants.

There is disagreement over the exact number of covenants in the Bible, but it is clear that there are at least 5 specific covenants and possibly 2 or three others. Those 5 clearly spelled out are the Covenant with Noah or Noahic and the Covenant with Abraham or Abrahamic, which we looked at in Genesis. The Covenant with Moses or Mosaic, the Covenant with David or Davidic and the New Covenant. The Bible is a covenantal story, and while each of those covenants forms a key part of that story, there is one overarching covenant unfolded in the Bible's narrative. While traditionally, it has been called the New Covenant, it is **God's Covenant of grace that is the focus of all of the Bible**. And each of the other Covenants plays a part in leading to its ultimate fulfillment. The base text for this message today is **Jeremiah 31:31-34**,³¹ "Behold, the days are coming, declares the Lord, when I will make a new covenant with the house of Israel and the house of Judah,³² not like the covenant that I made with their fathers on the day when I took them by the hand to bring them out of the land of Egypt, my covenant that they broke, though I was their husband, declares the Lord.³³ For this is the covenant that I will make with the house of Israel after those days, declares the Lord: I will put my law within them, and I will write it on their hearts. And I will be their God, and they shall be my people.³⁴ And no longer shall each one teach his neighbor and each his brother, saying, 'Know the Lord,' for they shall all know me, from the least of them to the greatest, declares the Lord. For I will forgive their iniquity, and I will remember their sin no more." Let's pray before we get into this text today.

Before we can get into this passage, we need to understand what a Covenant is. The basic definition of a Covenant is an agreement between two or more parties in which obligations are placed on one or both. We have seen before in the case of Abraham that unlike human transactions, when God makes a covenant, he can fulfill all parts of it himself. He needs no other party to keep the Covenant in place, and in the case of the primary Covenant we will examine today, as with the Covenant with Abraham, it is completely one-sided. In Genesis 15 we see God doing everything with this Covenant. Abraham has laid out cut up animals so God and he could formally seal this covenant where God has promised to make him into a great nation and bless the world through him. But in verse 12, where the formal ceremony to commit to the covenant begins, the Bible says, "As the sun was going down, a deep sleep fell on Abram." So Abraham is asleep, and then in verse 17, we see God alone himself formalize the covenant. The Bible tells us, "When the sun had gone down and it was dark, behold, a smoking fire pot and a flaming torch passed between these pieces."¹⁸ On that day the Lord made a covenant with Abram...

Now, when it comes to Covenants in the Bible, this passage in Jeremiah is key to understanding these Covenants. And **The key to this passage is God's promise of salvation.** Verse 34 shows us that focus by ending, **For I will forgive their iniquity, and I will remember their sin no more.** This is salvation from the problem of humanity, that we saw last week – sin. And that salvation begins with this declaration of a new covenant. The 1689 London Confession begins discussing God's Covenant in the same way our passage in Jeremiah does. Chapter 7 (page 16) of the Confession says, **Although rational creatures are commanded to obey their creator, the distance between God and these creatures is so great that they cannot obtain the reward of life unless God voluntarily acts. God has been pleased to save sinners by using a covenant.** This passage here in Jeremiah is unique in that it recognizes that God's overarching Covenant that is revealed here as a new Covenant is related to the previous Covenants that are clearly seen in the Old Testament. Verse 32 says, **not like the covenant that I made with their fathers on the day when I took them by the hand to bring them out of the land of Egypt, my covenant that they broke, though I was their husband, declares the Lord.** This is talking about what we call the Mosaic Covenant. It is law-based. God gave Moses the 10 commandments, along with the other hundreds of rules laid out in Exodus to Deuteronomy. God said, fulfill these laws and I will bless you, and you will receive all the land that was promised to your ancestor Abraham. Now, some people view the entire Old Testament through the lens of that covenant. They teach that people could be saved in the Old Testament, the Old Covenant by keeping the law. But that was never the purpose of the law. The purpose of the law, or the Mosaic Covenant was to reveal man's sinfulness and inability to ever keep that law.

Paul spends all of Romans 7 discussing this and he says in **Romans 7:7-10 What then shall we say? That the law is sin? By no means! Yet if it had not been for the law, I would not have known sin. For I would not have known what it is to covet if the law had not said, "You shall not covet." But sin, seizing an opportunity through the commandment, produced in me all kinds of covetousness. For apart from the law, sin lies dead. I was once alive apart from the law, but when the commandment came, sin came alive and I died. The very commandment that promised life proved to be death to me.** Israel's failure, and our failure to ever be able to keep even the 10 commandments, much less every law revealed in the Bible proved the point that the London Confession makes that we read just now. **Although rational creatures are commanded to obey their creator, the distance between God and these creatures is so great that they cannot obtain the reward of life.** We cannot keep the law. We have broken God's commands and would never be able to keep our end of a Covenant with God based on our ability to fulfill God's law. Instead of law, what the Bible reveals in Jeremiah and throughout the Old and New Covenants or Testaments is a different sort of Covenant.

This Covenant is based on grace. This covenant relies solely on God's mercy – his grace. Look at verses 33-34. **³³ For this is the covenant that I will make with the house of Israel after those days, declares the Lord: I will put my law within them, and I will write it on their hearts. And I will be their God, and they shall be my people. ³⁴ And no longer shall each one teach his neighbor and each his brother, saying, 'Know the Lord,' for they shall all know me, from the least of them to the greatest, declares the Lord.** Notice who is doing all the work. It has already been established in verses 31 and 32 that everyone has failed to actually follow God's law. They can never keep God's law. It is impossible

for us to do this. So, God is the one putting his ability to keep the law, in other words, his righteousness and holiness, into them. God will write his law on their hearts and reveal himself to them, because we cannot reach God by keeping the law. This is grace. God doing for us what we cannot do ourselves. The New Testament reveals that this grace is shown to us through Jesus Christ. Jesus himself as he institutes the Lord's Supper or Communion at the Last Supper with his disciples reveals that his death is the fulfillment of the New Covenant promise. God pours out his grace to us through the sacrifice of his Son, Jesus Christ. In [Luke 22:20](#), the Bible says, [\[Jesus took\] the cup after they had eaten, saying, "This cup that is poured out for you is the new covenant in my blood.](#) Just as Jesus Christ sealed that covenant with his death and resurrection, it is the Holy Spirit who actually writes God's law on our hearts and makes it possible for us to believe in Jesus. He is the one who does heart surgery on us to replace our sinful failure to keep the law with God's amazing grace. In [2 Corinthians 3:3 and 6](#), [God's Word says,](#) ³ [And you show that you are a letter from Christ delivered by us, written not with ink but with the Spirit of the living God, not on tablets of stone but on tablets of human hearts...](#) then dropping down to verse 6, ⁶ [who has made us sufficient to be ministers of a new covenant, not of the letter but of the Spirit. For the letter kills, but the Spirit gives life.](#)

This truth is spelled out in the London Confession in the second statement of Chapter 7 (page 16) [Because humanity brought itself under the curse of the law by its fall, it pleased the Lord to make a covenant of grace. In this covenant, he freely offers sinners life and salvation through Jesus Christ. To be saved, they must have faith in him. To those who are ordained to eternal life, God promises to give his Holy Spirit to make them willing and able to believe.](#) God is the one doing all the work in this covenant. We are dead in our sin and unable to do anything to connect to God or save ourselves. It takes the work of the Holy Spirit to save us. [John 6:44 says, No one can come to me \[Jesus\] unless the Father who sent me draws him. And I will raise him up on the last day.](#) The message of the God's covenant of grace that is revealed in Scripture is the greatest, most hope-filled message that anyone can ever receive – that all of us who have broken God's law, what some have called the Covenant of Works, and who are incapable of ever keeping our part of that covenant can be saved by God's grace. If you think that you can ever be good enough to be accepted by God or enlightened enough to reach God on some spiritual plane outside of this physical realm, you are blind to the problem of sin. Nothing within ourselves or apart from God himself can ever put us sinners into a relationship with our creator. The London Confession concludes chapter 7 on that note by saying: [The covenant of grace is the only means through which all of the descendents of Adam that have ever been saved obtained life and blessed immortality, since humanity is now completely incapable of being accepted by God according to the terms that Adam had with God when he was in a state of innocence.](#)

From Adam in the book of Genesis through the prophecy of Christ's return in Revelation, **the thread of this covenant of grace runs through every page of Scripture, including the Old Testament.** There was not a separate way to be saved by works and keeping the law in the Old Testament. [Romans 3:20-21 says, "For by works of the law no human being will be justified in his sight, since through the law comes knowledge of sin. But now the righteousness of God has been manifested apart from the law, although the Law and the Prophets bear witness to it..."](#) That righteousness from God has always come through his unearned favor towards us – his grace, based on

our faith in God for salvation. Of course in the Old Testament, they did not know the focus of that salvation until Jesus Christ was revealed as the “lamb of God, who takes away the sin of the world.” But as we constantly pointed out with the life of Abraham, it was still his faith that God rewarded with imputing or putting within him God’s own righteousness, just as we read about here in Jeremiah. [Romans 4:1-5](#) says, [What then shall we say was gained by Abraham, our forefather according to the flesh? ²For if Abraham was justified by works, he has something to boast about, but not before God. ³For what does the Scripture say? “Abraham believed God, and it was counted to him as righteousness.”](#) It was not Abraham’s faithful obedience to God’s law or his works that saved him. It was his faith in God, given completely by the outpouring of God’s grace on this man who failed to obey in many cases. So [Romans 4:5](#) ends this way, [And to the one who does not work but believes in him who justifies the ungodly, his faith is counted as righteousness.](#) Salvation is only due to God’s covenant of grace with us. Earlier in the book of Jeremiah, we read a description of the hearts of the People of Israel, which is a description of all of our hearts as humans. [Jeremiah 17:1](#) says, [The sin of Judah is written with a pen of iron; with a point of diamond it is engraved on the tablet of their heart, and on the horns of their altars.](#) Sin was written on their hearts, and sin is written on the hearts of every man, woman and child who has lived since Adam. But now what we see here in [Jeremiah 31](#) is that God will write a new word on their hearts – grace!

Has God written that word on your heart? Have you responded in faith and believed in Jesus Christ and accepted him as your Lord and Savior? Or are you still trying to accumulate enough good things so that God will weigh them against the bad and accept you. The scales will never go your way. Without the grace of God, your sin can never be forgiven. [Ephesians 2:8-9](#) says, [For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, ⁹ not a result of works, so that no one may boast.](#) Accept God’s free offer of his grace through faith in Jesus Christ. He made a Covenant with you that anyone who comes to him by faith, will find grace. Jesus says in [John 6:37](#), [All that the Father gives me will come to me, and whoever comes to me I will never cast out.](#) If you have questions about salvation, about God’s grace and faith in Jesus Christ, I invite you to talk to me, or one of our Deacons or Sunday School Teachers. You can fill out a communication card, and I will set up a time to talk and arrange a translator for whatever language you speak. We would love the opportunity to introduce to you our loving God who gives Amazing Grace! Let’s pray.